

# 木津川・桂川・宇治川圏域河川整備計画検討委員会 第18回資料

## <堂の川(木幡池)>

(パブリックコメントの結果等)

平成29年1月31日

京都府

# 1.パブリックコメントの結果等について

## ■府民意見の募集

◇実施期間:平成28年12月20日(火)～平成29年1月10日(火) 《3週間》

◇周知方法:京都府公報による公示

パブリックコメントの実施

記者発表、京都府ホームページへの掲載

◇縦覧場所(9箇所)

京都府建設交通部河川課、関係土木事務所(京都土木事務所、山城北土木事務所)

関係市町(京都市、宇治市、城陽市、八幡市、久御山町、宇治田原町)

◇パブリックコメントに係る資料設置(18箇所)

府民力推進課、府民総合案内・相談センター、各広域振興局総合案内・相談センター、各府税事務所、自動車税管理事務所、消費生活安全センター

計27カ所

◆今回は、上記の周知方法に加えて地元自治会や防災委員会の役員に事前周知を図った

## ■関係機関との事前協議

◇協議先:経済産業省近畿経済産業局

京都府関係部署(環境部、農林水産部、建設交通部、教育委員会)

関係市町(京都市、宇治市、城陽市、八幡市、久御山町、宇治田原町)

# 2.パブリックコメントの結果等について

## ■縦覧結果

- ◇閲覧者数: 1 名
- ◇府民意見: 6 件

## ■府民意見聴取の結果

	意見数	主な意見
府民意見	6件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水被害を解消するための整備は重要なので早期に実施して欲しい。</li> <li>・計画に沿った改修を進めていただきたい。</li> <li>・計画で終わらないよう、計画変更後は早急に事業に取り組んで欲しい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・木幡池は旧巨椋池の最後の忘れ形見で100種類近い野鳥をはじめとする野生生物が生息している。住民全体、人類全体、地球全体のためという視野に立った施策を進めて欲しい。</li> <li>・木幡池を掘削することで水深の低いところに生息する生物に悪影響を与えられる。</li> </ul>

縦覧(閲覧)場所	閲覧者数
河川課	0
京都土木事務所	0
山城北土木事務所	0
京都市役所	0
宇治市役所	0
城陽市役所	0
八幡市役所	0
久御山町役場	1
宇治田原町役場	0
計	1

### 3.パブリックコメントの結果等について

#### ■ 関係機関事前協議の結果

事前協議	意見数	主な意見
表記の時点修正	1件	・圏域の交通に関する記述の時点修正。
実施に当たっての要望	2件	・平成24年、25年の豪雨により木幡池周辺地域は、広い範囲で家屋の浸水被害が発生したことから、国の大島排水樋門の増設と連携して早期の河川整備を要望する。 ・漁業への影響に配慮願いたい。河川での稚魚の放流時期等に濁水による影響がないように配慮願いたい。

# 4.パブリックコメントの結果等について(詳細)

番号	頁	行	種別	質問・意見	事務局回答・対応方針
1.1.1. 圏域の概要					
1	3	9	表記	<p>圏域の交通網が進捗し変化しているため、時点修正してほしい。 「第二京阪道路に阪神高速8号京都線が接続し、山科地区まで延伸」は既に5年以上経過していて「近年」とは言えないため削除して欲しい。</p> <p>【現行】「圏域の交通は、…(中略)…南北の幹線(京奈和自動車道、国道24号、JR奈良線、近鉄奈良線、京阪本線など)が発達している。近年では、圏域を南北に貫く第二京阪道路に阪神高速8号京都線が接続し、山科地区まで延伸された。また、八幡、城陽間で名神高速道路の混雑解消を目的とした新名神高速道路の建設事業が進められている。」</p> <p>【修正案】「圏域の交通は、…(中略)…南北の幹線(京奈和自動車道、第二京阪道路、国道24号、JR奈良線、近鉄奈良線、京阪本線など)が発達している。また、名神高速道路の混雑解消等を目的とした新名神高速道路の建設事業が進められている。」</p>	修正します。
2.1.1. 河川工事の目的、種類及び施行の場所(治水)					
2	42	-	要望	京淀川漁業協同組合の漁業権の区域であり、漁業に影響の出ないよう配慮されたい。 また、河川種苗(稚魚)の放流時期等に濁水による影響の出ないよう配慮されたい。	<記載内容の変更なし> 工事着手前に施工方法や時期等について漁協と協議し、濁水による影響の出ないよう配慮します。
3	42	-	要望	平成24年、25年の豪雨により木幡池周辺地域は、広い範囲で家屋の浸水被害が発生したことから、国の大島排水樋門の増設と連携して早期の河川整備を要望する。	<記載内容の変更なし> 河川整備計画の変更手続きを早期に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業を早期に着手したいと考えています。
4	42	-	意見	浸水被害を解消するための整備は重要なので早期に実施していただきたい。 自然環境も生かした水辺空間の利用促進もふくめ、地域に身近で安全な木幡池となるよう整備を進めてほしい。	<記載内容の変更なし> 河川整備計画の変更手続きを早期に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業を早期に着手したいと考えています。
5	42	-	意見	引き続き計画に沿った改修を進めていただきたい。	<記載内容の変更なし> 河川整備計画の変更手続きを早期に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業を早期に着手したいと考えています。
6	42	-	意見	平成24年8月の京都府南部豪雨では大島排水機場のポンプアップが追いつかなかったことが一つの要因と聞いている。このような浸水被害をなくすためにも木幡池の掘削や大島排水機場の整備は必要不可欠と思う。整備計画に追加し早急に事業に取り組んでもらいたい。	<記載内容の変更なし> 今回の計画では、木幡池の掘削や堤防の低い箇所の嵩上げ等の整備と合わせて国による大島排水樋門を増設することで、概ね30年に1回程度の降雨による洪水においても、浸水被害を生じないことから、河川整備計画の変更手続きを早期に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業を早期に着手したいと考えています。
7	42	-	意見	木幡池は旧巨椋池の最後の忘れ形見で100種類近い野鳥をはじめとする野生生物が生息している。「かわまちづくり」事業にも認定され、「治水」と「親水」の両方を推進することとなっています。ところが、2年連続の水害のために治水が最優先されている結果、貴重な自然の保全・活用が後回しになっています。住民全体、人類全体、地球全体のためという視野に立った施策を進めて欲しい。	<記載内容の変更なし> 工事の施行に当たっては、必要に応じて事前に生物等の調査を行った上で、水際の植生等、生物の生息環境に極力配慮します。
8	42	-	意見	木幡池を掘削することで水深の低いところに生息する生物に悪影響を与えらると思われる。	<記載内容の変更なし> 工事の施行に当たっては、必要に応じて事前に生物等の調査を行った上で、水際の植生等、生物の生息環境に極力配慮します。
9	24~27	-	意見	東高瀬川、七瀬川に関する意見 東高瀬川、七瀬川の周辺では河川の氾濫により大規模な豪雨災害が予想される。そのため、住民の方々や特別養護老人ホームのスタッフの方に防災意識や関心を持っていただくための講習会が大事である。河川の動植物の生態系も大事であり、また市民参加型の河川周辺の清掃活動も大事である。国や府と連携し河川事業に取り組んでいただきたい。	<記載内容に変更なし> いただいたご意見につきましては、事業を実施されている京都市に情報提供させていただきました。また、府管理河川におきましてもいただきましたご意見を参考にさせていただきます。

# 5.堂の川（木幡池）のスケジュール

## スケジュール

